

No	株主総会質疑内容	回答
1	当社としても社会的責任、あるいは地域社会への貢献の一環として、サステナビリティの観点から人権の取り組みを進めてみてはどうか。企業価値の向上、SNSで発信すれば当社の知名度も拡散するのではないか。	(議長) 当社では、サステナビリティに関する社内教育を実施しており、人権尊重の重要性についても認識しています。今後の取り組みや情報発信の参考とさせていただきます。
2	昨年および今年に食中毒事故が発生していますが、社内ではどのような再発防止策を検討されたのでしょうか。また、親会社であるコロワイドからの指導内容についてもお伺いします。加えて、従業員による不適切行為に関する動画を拝見しましたが、社員教育の取り組みや、食品ロス削減に向けた対応についても教えてください。あわせて、これらの課題に対して社外取締役の皆様がどのようなご意見をお持ちかもお聞きしたいです。	(議長) 食中毒事故により、お客様、関係者、株主の皆様にご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。罹患されたお客様は快方に向かわれており、全社を挙げて衛生管理の再徹底に取り組んでおります。グループ内では、より効果的な消毒薬剤の導入も進めております。不適切行為については、店舗内への携帯電話持ち込みルール of 徹底を図っております。 (今井取締役) 被害に遭われた方々に心よりお詫び申し上げます。保健所からは手洗いの不徹底が原因との指摘を受け、現在は出勤時・トイレ使用後の手洗い、店舗の定期殺菌、月次教育を全店で実施しています。SNSに関する教育も強化し、雇用契約書やガイドブックに注意事項を明記しています。食品ロスについては、発注・仕込み量の管理を徹底し、廃棄発生時は報告・原因追究を行っています。 (池田社外取締役) 手洗いの方法に問題があったのではと確認し、会社側からは改善策として毎月全店舗での教育を継続するとの説明がありました。社外取締役全員としても、この対応に納得しており、今後の再発防止に期待しています。
3	損益計算書において、販売費及び一般管理費が233億円となっており、これが売上総利益を上回ったことで赤字となっています。販売費及び一般管理費の削減について、どのようにお考えか教えてください。	(議長) 販売費及び一般管理費につきましては、近年、人件費やエネルギーコストの上昇が大きな要因となっております。一方で、2025年3月期には株主優待制度の見直しなどにより、一部改善が見られました。今後も、売上看えたワークスケジュールの構築を通じて人件費の厳格な管理を行うほか、エネルギーコストの抑制にも取り組み、全社的なコスト改善を進めてまいります。
4	経常利益について、ここ数年は毎年大きなプラスを目標として掲げているものの、結果的にはマイナスとなっている状況です。今年度の見通しについて、どのような結果を想定されているのか、またその達成確率についても伺いたいです。加えて、社外取締役の皆様は、経営陣に対してどのような支援やアドバイスを行っているのかについても教えてください。	(議長) 経常利益が未達となったことにつきまして、深くお詫び申し上げます。主な要因は売上の不足であり、2025年3月期は看板商品の開発や組織体制の見直し、コロワイドMDとの連携による商品開発に取り組みましたが、十分な成果には至りませんでした。原材料費の高騰、特に米の価格上昇も影響しています。今期は新体制のもと、マーケティングを再編し、売上確保に向けた商品開発を強化しております。社外取締役からは、月例会議にて営業状況を共有し、継続的に助言をいただいております。 (池田社外取締役) 社外取締役および監査等委員は、減損リスクの低い店舗づくりや予算策定の妥当性について重点的に意見・質問を行っております。来期以降の予算達成に向けた取り組みを見守りつつ、引き続き建設的な提言を行ってまいります。
5	事業譲渡について、カラオケ事業や居酒屋事業が利益を出しているのであれば、売却する必要はないのではないかと考えます。売却によるメリットについて、詳しくお聞かせください。また、譲渡先のシン・コーポレーションは系列会社なのでしょうか。特にカラオケ事業については、グループ内よりも外部への売却の方が望ましいのではないかと感じますが、その点についてもご説明をお願いします。	(議長) 譲渡先であるシン・コーポレーションは、当社グループとは関係のない外部企業です。カラオケ事業および居酒屋事業については、当期は黒字化しておりますが、これらの事業の譲渡によって業績が好転した側面があります。既存店の回復が遅れている状況も踏まえ、当社としては主力であるレストラン事業に人員を含めた経営資源を集中させる方針とし、事業譲渡を決定いたしました。
6	田中さんが1年で代表取締役を退任される理由について教えてください。また、退任にあたり、次期代表取締役に対してどのようなアドバイスをされる予定かもお聞かせください。	(議長) 退任は任期満了によるものであり、あわせて、在任中に掲げた予算目標に対して十分な成果を上げられなかったという本人の思いもございます。後任の植田氏は、過去に当社の代表取締役を務めた経験があり、グループ内でも複数の役職を歴任しており、外食事業に関する豊富な知見と経験を有しています。当社の重要課題である「利益の確保」と「売上の拡大」に向けて、新体制で臨むことが最善と判断いたしました。
7	ステーキ宮では、田中社長の就任後に国産野菜の導入や有名タレントの起用による認知度向上、さらにジャパンフードセレクションで3商品が受賞するなどの取り組みが行われましたが、結果として業績に結びつかなかったのはなぜでしょうか。また、退任される今井取締役には、新体制に対してどのような期待をお持ちか、お聞かせください。	(議長) 国産野菜の導入やタレント起用、ジャパンフードセレクションでの受賞などの取り組みは行ってまいりましたが、外部への発信が十分でなかった点は私自身の課題と認識しております。その反省を踏まえ、マーケティング部を再編し、経験豊富な新メンバーによる体制で取り組んでおります。2025年3月期には感謝祭として横浜・名古屋でメディア向けの施策も実施しましたが、成果には至りませんでした。 (今井取締役) 「楽しいこと、美味しいこと」を徹底的に追求する一年でしたが、理想の100%を体現しきれなかったことが課題です。営業は日々の積み重ねであり、日々の実行力が売上につながると考えています。今総会をもって取締役は退任いたしますが、営業推進本部には残留し、今後は研修・教育の面から新体制を支えてまいります。
8	議案が可決された場合、新たに就任される社長および取締役の皆様から、今後の抱負や会社に対する考えをぜひお聞かせください。あわせて、現在の状況を踏まえ、どのように会社を立て直していくお考えかについても伺いたいです。	(植田取締役候補者) 植田でございます。アトムがグループ入りした2005年から約20年が経過し、今回再び経営に携わることとなりました。現在のアトムの状況を正確に把握し、しっかりとした基盤を築きながら、持続的な成長の道筋を描いていくことが、私に課された重要な使命であると考えております。皆様からもご指摘いただいたとおり、アトムには真面目で誠実な社員が多く、また、魅力的な資産も数多く有しています。私たちは、そうした人材や資産を最大限に活かし、社員一人ひとりが「アトムにいて良かった」と心から思える会社づくりを目指してまいります。 (三平取締役候補者) 三平でございます。現在、営業推進本部に所属しており、今井取締役と同じ部署で業務にあたっております。昨年は安全・安心の面でご迷惑をおかけしましたが、教育や採用など、現在多くの企業が直面している課題に対して、これまでの経験を活かしながら、現場に即した改善と支援を進めてまいりたいと考えております。